

令和8年度 高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種対象者 様

滑川町長 大塚 信一(公印省略)

令和8年度 高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種のお知らせ

- 肺炎で一番多い病原菌は肺炎球菌です。肺炎球菌ワクチンを接種しておくこと、肺炎の予防や肺炎にかかっても軽い症状ですむ効果が期待されます。
- 肺炎による死亡者の95%以上が、65歳以上の方です。

対象者	65歳の方（65歳の誕生日から1年間）
自己負担金	8,000円 (生活保護受給者は無料)
注意事項	<p>※<u>公費で補助出来るのは生涯で1回です。</u></p> <p><u>過去に高齢者肺炎球菌ワクチンを一度でも接種された方(全額自己負担で接種した方も含む)は、定期接種の対象外となります。</u></p> <p>※<u>上記の期間に接種できなかった場合、その後の接種は全額自己負担です。</u> (ただし、特段の理由により、指定の年度に接種ができなかった方は、保健センターまでお問い合わせください。)</p>
接種方法	<p>医療機関へ<u>直接予約</u>をして接種してください。*別紙参照</p> <p>※別紙以外の医療機関(県内に限る)で接種を希望される方は、直接その医療機関へご相談ください。</p> <p>※その他のワクチンとの接種間隔については、医療機関へご相談ください。</p>
持ち物	<ul style="list-style-type: none">・同封の高齢者肺炎球菌予防接種予診票・自己負担金8,000円・マイナ保険証または資格確認書 <p>※生活保護受給者は受給者証の持参で接種費用は無料になります。</p>

お問い合わせ

滑川町健康づくり課 保健予防担当(滑川町保健センター内)☎ 0493-56-5330

裏面も必ずお読みください。

【 20価 高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種説明書 】

肺炎球菌について

肺炎、副鼻腔炎、中耳炎、髄膜炎などの原因となる細菌で、高齢者の肺炎の原因菌で一番多いものが肺炎球菌です。肺炎球菌は、健康な人の鼻、のど、上気道にも存在し、体力や免疫力が低下すると、肺炎などを発症することがあります。

副反応について

接種後に、注射部位の腫れ、痛み、ときに軽い頭痛等の副反応がみられることがありますが、通常2～3日で消失します。高熱や体調の変化、痣や鼻出血、口の中の出血等その他に心配な症状がある場合は、医療機関を受診してください。

予防接種を受ける前の注意事項

■ 予防接種を受けることができない方

- (1) 接種当日、明らかに発熱のある方(体温37.5度以上)
- (2) 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方
- (3) 予防接種の接種液の成分で、アレルギー反応を起こしたことが明らかにある方
- (4) その他、医師が不適切な状態と判断された方

■ 接種に注意が必要な方(接種にあたり医師とよく相談してください)

- (1) 心臓・腎臓・肝臓・血液等の基礎疾患がある方
- (2) 予防接種後2日以内に発熱したことがある方、または全身性発疹などのアレルギーを疑う症状になったことがある方
- (3) 過去にけいれんを起こしたことがある方
- (4) 免疫不全の診断を受けている方、及び近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- (5) 血小板減少症、凝固障害、抗凝固療法を受けている方

予防接種を受けた後項の注意事

- (1) 予防接種を受けた後30分間は、急な副反応が起こることがあります。医師とすぐに連絡が取れるようにしておきましょう。
- (2) 予防接種を受けた日の入浴は可能ですが、注射したところをこすらないでください。また、激しい運動や大量の飲酒は避けてください。

予防接種健康被害救済制度について

肺炎球菌予防接種により重い副反応が生じ、入院治療が必要なほどの健康被害が生じた場合は、医療費および医療手当等の給付により、健康被害を救済する制度があります。救済を申請し、国による審議の結果、予防接種と健康被害の因果関係があると認定された場合は、救済を受けることができます。